

2006 年度

科目名 ゼミナールⅡ	対象学科・学年 文学部教福4回生	担当者 田中 孝治
授業テーマ ・絵画表現及び副論文作成を通し、内観を進め自己表現をはかる。		
授業の概要と目標 ・ゼミナールⅠからの研究趣旨を生かし、絵画制作を主とする卒業研究（制作と副論文）を進める。主体的・継続的な研究姿勢で、生涯にわたる自己教育力の基盤を確立する。なお卒業研究では、卒業制作として油彩画F60号作品を完成させ、併せて、「絵画による自己表現の意義について」を研究主題とする副論文（原稿用紙20P程度）を作成し、提出する。 ・ゼミでの学習交流をもとに、生涯の「学友」の絆を深める。		
評価方法 ①毎回の出席・研究態度、②学習成果と自己評価、③油彩画作品評価、④副論文評価、等により総合的に行う。		
テキスト ・なし（担任作成の学習資料を、適宜提供する）。	著者	出版社
参考書 ・適宜紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 年間ゼミ学習計画と学生生活の設計 2. 絵画の分析的考察と表現 ・形と色彩、遠近感 3. 〃 ・質感や量感、ムーブマン 4. 〃 ・主題と構図 5. 〃 ・油彩の特徴と様々な表現方法 6. 「絵画制作」の仕事と自己実現 7. 「絵画表現」と卒業研究の意義 8. 「自己探究」と「主題（モチーフ）」 9. 副論文作成の意義と構成 10. 卒業制作 「表現主題」を決める 11. 〃 「表現の構想」をまとめる 12. 〃 「表現の構成・構想」を練る 13. 副論文の構成を考える 14～15. 副論文作成のための資料収集 （特講）写生実習（2泊3日）油彩風景画（F8号2枚）制作 16. 卒業制作（油彩画F60号）制作開始 副論文作成開始 17～18. ・描き出し作業 19～21. ・描き込み作業① 副論文1次提出 22～24. ・描きこみ作業② 副論文2次提出 25～27. ・仕上げ作業 副論文完成・清書 28. 卒業制作完成・提出、相互鑑賞・評価 副論文本提出 ※ 写生実習（2泊3日）を授業2回に換算し、年間30回の授業とする。 ※ 卒業制作作品は、①学内（志学館） ②大阪市内画廊 で展覧する。		